

## 日 誌 (昭和36年11月)

## 【国 内】

- 8日 ○本行、政府保証付債券の売戻しを実施  
 9日 ○大蔵省、4大証券投資信託委託会社の基幹産業投資信託約款を承認(要録参照)  
 10日 ○外国為替銀行、英国の公定歩合引下げに伴い英ポンド建自行輸入ユーザンス金利を引下げ(1/2付、年利9.0%以上を8.5%以上へ、1/4なし、9.75%以上を9.25%以上へ、同サービス9.075%以上を8.575%以上へ)、また英ポンド現地貸付金利も引下げ(8.5%以上を8.0%以上へ)  
 13日 ○日本・パキスタン借款供与協定調印(総額200万ドル)  
 17日 ○金融制度調査会、為替専門銀行の資金調達の方法に関して答申(要録参照)  
 20日 ○本行、輸出貿易手形制度の一部を改正(要録参照)  
 24日 ○本行、米商銀行3行との間の米ドル資金借入契約に調印(要録参照)

## 【海 外】

- 1日 ○米両院合同経済委員会対外経済政策小委員会、ハーター・クレイトン報告を発表  
 2日 ○第1回日米貿易経済合同委員会、箱根にて開催(4日まで)  
 ○英蘭銀行、公定歩合を6.5%から6%へ引下げ  
 3日 ○米国財務省、スイス国立銀行から122.4百万スイス・フラン(46.3百万ドル相当)を借入  
 6日 ○コンゴ・フラン(ブラザビル)23%切下げ  
 7日 ○日米財界人会議、東京および大阪にて開催(11日まで)  
 8日 ○GATT当局、1960年国際貿易に関する年次報告を発表  
 ○英国、EEC加盟交渉開始  
 13日 ○GATT第19回総会、ジュネーブにて開催(12月9日まで)  
 ○第13回コロンボ・プラン協議委員会(閣僚級会議)、クアラ・ルンブルで開催(17日まで)  
 14日 ○西ドイツ、第4次アデナウアー内閣成立  
 ○フィリピン、大統領選挙実施。自由党のマカパガル副大統領当選  
 16日 ○経済協力開発機構(OECD)第1回閣僚理事会、パリにて開催(17日まで)、加盟国のGNP50%増加の目標などを決定  
 21日 ○ケネディ米大統領、関税委員会に対し、輸入綿製品に対する賦課金の可否に関する調査を指示  
 ○EFTA理事会、域内関税の引下げ促進などを決定  
 22日 ○英国およびマラヤ連邦、「マレーシア連邦」結成に関する共同コミュニケ発表  
 24日 ○英仏首脳会談  
 26日 ○ケネディ米大統領、チェスター・ボールドズ國務次官更迭を含む國務省幹部の異動を発令  
 27日 ○GATT閣僚会議、ジュネーブにて開催(30日まで)  
 28日 ○ケネディ米大統領、政府保有自由銀の売却停止などを発表  
 29日 ○英国、IMF借入のうち500万ポンド返済を決定(スタンド・バイ・クレジットに組替え、30日に実施)  
 30日 ○デンマーク、EEC加盟交渉開始